

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1072
施設名	松島おひさま保育園
施設所在地	江戸川区松島2-30-17
法人名	社会福祉法人えどがわ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然から感じる体験、発見をする

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭には大きな桜の木があり、セミやトンボなど生き物も多く園庭に訪れている。園庭で素足で遊ぶことも取り入れ、土の感触や落ち葉生き物に興味を示している姿があるため、自然からさまざまな体験をしてほしいを思った。また自然の素材を使って遊ぶことが好きな子どもが多く、探す、見る、遊ぶ、作り事が好きのため

## 2. 活動スケジュール

- 1、公園で秋探し、両手いっぱい葉を集めたり、みんなで落ち葉の山、穴を開けてお面にしていたり、ドングリや木の実を集める。
- 2、拾った自然物を使って、紙に並べたり、テープで貼る友達の姿をみて、真似してドングリや鳥の羽など自分が思う

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

落ち葉、公園で落ちている自然物、どんぐりや石などのり、ボンド、セロテープ、画用紙

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

た。公園に地面で落ち葉を使って魚、亀など水槽を作り、それぞれがイメージしながら3~4人グループで遊んでいた。次の日、クラス全員で降園の落ち葉や木の実などを散策しながら、自分の作りたいものを考えながら集めた。

・画用紙にボンドとつけ、集めてきた素材を自由にはり、それぞれがイメージした形に作る進めた

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子ども同士で見せ合ったり、真似をしたりなど、自分のイメージした形にするのを難しく感じている場面があったため、何を作ろうとしているのか？子どもたちにイメージしているものを想像してこれを使ってみたら？本を参考にしてみたら？など声をかけてすすめた。

出来上がったものを子ども同士で見せ合い、お互いのものに共感する場面がみられ、5歳児ならではの言葉のやり取りが見られた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

始めは、3~4名の子どもが何気なく始めた遊びをきっかけに、クラス全員が参加して楽しめる遊びに繋がり、子どもたちの想像する力を感じた。

落ち葉一枚一枚同じものがなく、自然の素材に違いに気づいたり、自然の素材が子どもたちの創作意欲を掻き立てていたのを感じた。ライトテーブルで葉っぱ葉脈をみることで、葉っぱの不思議を感じている場面も見られた。